

▶ 学長メッセージ

新型コロナウイルス感染拡大は世界的な惨禍となりました。社会経済に与える影響はリーマン・ショックを超えています。大学としても、通常の学びのスタイルを取れないことによる戸惑いが深甚であることを率直に認めざるをえません。危機の渦中において、学生と教職員の安全を第一としつつ、大学での学びの継続をどう担保するか。アクティブ・ラーニングを積極的に推進していたにも拘わらず、前期は暫時それにブレーキをかけました。未知なことが多く、ベストを見定められないために対策を決める議論も長時間に及びました。それでも、大学として第一に考えたことは、学びの継続を可能とする道でした。できる限りの支援策を打ち出しています。ただし、未曾有の災厄の中でも本学の持続的発展を軽視することはありません。

一方、国家の財政状況は、今まで経験したことのないレベルに達しています。足元の経済活動も変調をきたしています。将来世代へのツケとなる施策には注意が必要です。さらに懸念されることは、今回のコロナ禍によっていっそう深刻度を増す米中対立です。トウキディデスの罠という言葉聞いたことがあるでしょうか。恐怖が世界を思わぬ方向に突き動かす可能性があります。

こうした現在（いま）であるからこそ大切なのは、真摯に学び、想像力と創造性をもって危機をチャンスに変える知的たくまさを磨くことです。本学には、60年の伝統を築き上げ、各界で活躍する素晴らしい先輩も大勢います。本学独自の支援に加え、同窓会からも皆さんの学びを支えるために御寄附をいただきました。広島修道大学での学びを決してあきらめない。それが皆さんの道を切り開きます。

学長 三上 貴教



▶ 対策

方針・施策等について

- 緊急対策本部の設置
- 新型コロナウイルス感染症に関する方針の策定
- 広島修道大学活動指針[※]の策定
※最新の危機レベルについては本学WEBサイトで確認してください。
- イベント等の取り扱い方針の策定
- 学修継続のための本学独自の各種経済支援 など

行事の中止

- 2019年度卒業式 学位記送付にて対応
- 2020年度入学式
- オープンキャンパス 夏のオープンキャンパスはWEB開催
- Culture Jam など

学生生活について

- 前期は原則非対面型授業を実施
- サークル活動等課外活動の禁止
- キャンパスへの入構を制限
- 学生対応カウンターへのアルコール消毒、飛沫防止シート（一部アクリルボード）の設置 など



●非対面型授業 同時双方向型授業の様子

▶ 支援

学修継続のための本学独自の各種経済支援

実施済

①全学生への「学修継続支援金」の給付

オンライン授業の受講に係る通信費等の費用支援、その他大学での学修を継続していくための支援として、全学生[※]への「学修継続支援金」（学部生8万円/人、大学院生4万円/人）を給付。
※ただし、前期休学及び前期休学予定の学生、外国人留学生の諸納付金全額免除の学生を除く

②給付奨学金 広島修道大学「緊急生活支援奨学金」の創設

現在ある本学独自の奨学金制度に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により家計急変が生じた学生を対象に100人を上限に一人10万円を給付する広島修道大学「緊急生活支援奨学金」を創設、募集。

③特別貸付金 貸付人数の拡大

前期諸納付金延納期限までに入金が間に合わない場合の特別貸付金（前期諸納付金相当額）の一時貸付枠を50人に拡大。

④オンライン授業に伴う学習環境の支援

前期授業で使用する教科書を来学せずに購入できるように、大学生協での購入教科書の自宅送料を5月17日受付分まで大学が負担。

継続中・募集予定

①自宅・下宿先にインターネット環境、パソコンのない学生への支援

- ①パソコンの貸出
260台を上限にパソコンの貸出を行っています。貸出希望者は情報センターにご連絡ください。
- ②情報演習室の利用
自宅にインターネット環境がない学生は、情報演習室の利用が可能です。詳しくは以下のサイトをご確認ください。
（在学生のみアクセス可能）<https://www.shudo-u.ac.jp/jc-center/a/jc-pc.html>



②広島修道大学同窓会緊急奨学金

同窓会からの寄附金1,000万円を原資に、新型コロナウイルス感染拡大により経済的影響を受けた学部生を対象に100人を上限に一人10万円を給付する予定です。

学修支援・就職支援

①非対面型授業

キャンパスへの入構制限に伴い、前期は一部授業を除き非対面型授業を行っています。リアルタイムにオンラインで授業配信を行う「同時双方向型授業」やオンライン上に教材や授業動画や課題をあげ、学生が時間を選ばず学修できる「オンデマンド型授業」、メール等で提示された資料、課題を行う「課題研究型授業」、「資料提示型授業」などを行っています。

②学習支援センター

①遠隔での学習相談
学習支援センターでは学生の学びをサポートするために、学習アドバイザーが遠隔での学習相談に応じています。レポート・レジュメの書き方や英語全般、時間管理等、学びに関する相談・質問に次の方法で対応していますので、積極的にご利用ください。

- 【相談方法】(1)Zoom^{※1}での学習相談（Eメールまたは電話で日時を予約してください。）(2)電話での学習相談（12時30分～16時30分）
(3)Eメールでの学習相談

*履修について、特定の授業の課題についてはお答えできませんので、ご了承ください。

②遠隔ワークショップ

Zoom^{※1}を用いて大学での学びに必要なスタディスキルのワークショップを開催しています。最新の情報は本学WEBサイトをご確認ください。

- 【ワークショップ例】 ●大学生の基礎英語 —TOEIC Bridge[®]編— ●プレゼン入門講座 など

③図書館

学修や研究に必要な資料を、学生等が指定する自宅または帰省先に郵送しています。（大学からの郵送に必要な経費は大学負担）

④キャリアセンター

キャリアセンターでは、就職支援システム「ShuNavi」からの予約制で対面および遠隔での就職支援をまずは4年生から再開しています。対面での進路相談、模擬面接の際は、入室の際のマスク着用や手指の消毒や検温のお願いを行った上で、飛沫防止アクリルボード越しに実施し、終了後は毎回座席のアルコール消毒を行っています。

- 【予約制で行っている就職支援】(1)キャリアセンターでの対面による進路相談および書類添削 (2)電話での進路相談および書類添削
(3)キャリアセンターでの対面およびZoom^{※1}を使用したWEBでの進路相談、書類添削および模擬面接

*予約方法の詳細は「ShuNavi」の「キャリアセンターからのお知らせ一覧」をご確認ください。 *1～3年生のインターンシップ等に関する質問、相談については、電話にて受け付けています。



●キャリアセンター 飛沫防止アクリルボード越しの面談

※1 Zoomビデオコミュニケーションズが提供する、オンラインでリアルタイムに受け答えができるビデオ会議システム。

健康管理

全国的に緊急事態宣言が解除されましたが、感染状況レベルが下がったあとも再度感染が拡大する可能性があります。自らを感染から守るだけでなく、自らが周囲に感染を拡大させないよう心がけることが大切です。厚生労働省からは感染拡大を予防する「新しい生活様式」が公表されました。今後も、引き続き次のことに留意し健康管理を行ってください。

①感染防止のための3つの基本

- ①身体的距離の確保・・・人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける。
- ②マスクの着用・・・症状がなくてもマスクを着用する。夏場のマスク着用は、熱がこもり熱中症になりやすいので、屋外で人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合には、マスクをはずしたり、こまめに水分補給をする。
- ③手洗い・・・30秒程度かけて水とせっけんで丁寧に洗う。

②3つの密(密集、密接、密閉)の回避

③日常的な健康状態の確認

朝の体温測定とその他の症状の有無を確認する。(体調管理表*の記入)

④一般的な健康確保

免疫力を高めるために、適度な運動・十分な睡眠・バランスのとれた食事に気をつけ、規則正しい生活を心がける。

⑤感染リスクが高くなる場所は徹底的に回避

夜間の飲食店や繁華街への外出、人と食事をする時は、対面ではなく横並びに座り会話は控えめに、屋内のスポーツ施設やジムの利用は控えるなど。

⑥移動に関する感染対策

- ①感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- ②発症した時のために、誰とどこで会ったかを記録する。(行動管理表*の記入)

* 体調管理表・行動管理表は本学WEBサイトよりダウンロードしてください。

<https://www.shudo-u.ac.jp/news/nvu9p700000532v5.html>



新型コロナウイルス感染症の罹患の疑いがある場合は、他の人との接触を避けすみやかに最寄りの相談窓口(保健所等)に相談の上で指示に従い受診してください。複数の医療機関への受診(はしご受診)は控えてください。また併せて学生センターまでご連絡ください。

心のケア

新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛の日々や非対面型授業など、これまでとは違う慣れない生活の中で感じる事が様々あると思います。このような状況の中で、学生生活での気がかりや、心身に変調を感じる事などあれば、学生相談室のカウンセラーが相談に応じます。気軽に学生相談室にお電話ください。相談は電話やGoogleClassroom*2を用いて行います。



学生相談室 カウンセラーの丸山さん(左)、大島さん(右)

*2 Googleが提供する、課題の管理をサポートするツール。ファイルの共有やフィードバックの提供などが可能。

問い合わせ先一覧

授業等について

教学センター	
商学部	082-830-1121
人文学部	082-830-1122
法学部	082-830-1123
経済科学部	082-830-1304
人間環境学部	082-830-1306
健康科学部	082-830-1122
国際コミュニティ学部	082-830-1123

授業料等諸納付金について

経理課	082-830-1106
-----	--------------

奨学金・学生生活・罹患の疑いについて

学生センター	082-830-1117
--------	--------------

学生相談について

学生相談室	082-830-1119
-------	--------------

学習支援について

学習支援センター	082-830-1426
	skill@js.shudo-u.ac.jp

就職活動について

キャリアセンター	082-830-1115
	career@js.shudo-u.ac.jp

PCの貸出・情報センターの利用について

情報センター	082-830-1126
--------	--------------

図書館の利用や本の貸出・返却について

図書館	082-830-1112
-----	--------------

Topics

Hiroshima Shudo University

Topics 1 広島修道大学同窓会より1,000万円の寄附 「広島修道大学同窓会緊急奨学金」を創設(5/25)

新型コロナウイルス感染拡大により経済的影響を受けた学生の支援として、広島修道大学同窓会より1,000万円の寄附をいただきました。

広島修道大学同窓会では、アルバイト先の休業による収入減や家計を支える家族の収入減により学費納入が困難になるなど、学生たちの経済的困窮は非常に憂慮すべき状態

にあると考え、学生に十分な支援を直接おこなうために今回の寄附をお申し出くださいました。

いただきました寄附金は、「広島修道大学同窓会緊急奨学金」を創設し、100人を上限に一人10万円を学部生に給付する予定です。



Topics 2 卒業生、協定校よりマスク計6,000枚の寄贈

新型コロナウイルス感染予防として卒業生及び協定校よりマスク計6,000枚を寄贈いただきました。卒業生の陳洪滄様より4,000枚、卒業生の曾憲忠様が所属している広島県華僑華人総会様、一般社団法人外国人支援センター様より

1,000枚、協定校の西南政法大学(中国)より1,000枚を寄贈いただきました。いただいたマスクは、本学の教育・研究現場にて有効活用いたします。みなさまからの心温まるご支援に感謝申し上げます。

Topics 3 長期インターンシッププログラムが 「第3回 学生が選ぶインターンシップアワード」に入賞(5/18)

経済産業省、文部科学省等後援の「第3回 学生が選ぶインターンシップアワード」にて、本学のプログラムが「入賞」を受賞しました。361法人482プログラムの応募から10法人が表彰され、西日本の大学では本学が唯一の入賞となりました。

事前事後の学内での指導に力を入れ地元の様々な企業と連携することで、単なる就業体験にとどまらず、高い学習効果を狙ったプログラムであること、将来のキャリアに対する

モチベーションを維持するよう努めている点が、全国の学生・有識者から評価されました。

この受賞を励みに、これからも学生一人ひとりのキャリアサポートの更なる充実と本インターンシップの改善に努めてまいります。



Topics 4 WEB入試説明会・WEBオープンキャンパスを実施

6月21日より本学入試情報サイトにて、受験生・保護者対象WEB入試説明会を実施しています。また、第1回、第2回WEBオープンキャンパスをそれぞれ7月18日、8月23日より公開予定です。エントリー者限定の特設ページをご用意して

おりますので、ぜひ各回ともエントリーしてご参加ください。

入試情報サイト:

<https://www.shudo-u.ac.jp/admissions/>



受賞報告 商学部 米田邦彦教授が第20回日経STOCKリーグ「NOMURA Award(特別賞)」を受賞

商学部 米田邦彦教授が第20回日経STOCKリーグで「NOMURA Award(特別賞)」を受賞しました。

日経STOCKリーグは、学校教育の場における投資学習の1つのツールとして企画されたコンテスト形式の株式投資学習プログラムで、米田教授は、長年ご自身のゼミナールの3年生と参加されており、指導者として評価されての表彰となりました。米田教授の受賞につきまして、心よりお祝い申し上げますとともに、さらなるご活躍を祈念いたします。



お詫びと訂正

TRUTH春号にて以下の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
P16 退職教職員5段目左端(誤)経理課主任主事 → (正)財務課主任主事 P20 執行委員長の紹介(誤)岡山県立岡山龍谷高校出身 → (正)岡山県・岡山龍谷高校出身

2019年度決算について Settlement of accounts

Hiroshima Shudo University

2019年度 活動区分資金収支計算書

<2019(平成31)年4月1日から2020(令和2)年3月31日まで>

(単位:円)

科 目		金 額
教育活動による資金収支	収入	
	学生生徒等納付金収入	6,515,868,500
	手数料収入	202,593,250
	特別寄付金収入	7,555,900
	一般寄付金収入	1,645,500
	経常費等補助金収入	490,612,533
	付随事業収入	33,644,400
	雑収入	128,233,951
	教育活動資金収入計	7,380,154,034
	支出	
	人件費支出	4,057,730,829
	教育研究経費支出	1,746,609,765
	管理経費支出	262,009,495
教育活動資金支出計	6,066,350,089	
差引	1,313,803,945	
調整勘定等	△ 26,896,296	
教育活動資金収支差額	1,286,907,649	
施設整備等活動による資金収支	収入	
	施設設備補助金収入	14,247,000
	減価償却引当特定資産取崩収入	149,462,403
	施設整備等活動資金収入計	163,709,403
	支出	
	設備関係支出	133,079,828
	第2号基本金引当特定資産繰入支出	186,669,000
	減価償却引当特定資産繰入支出	801,872,480
	施設整備等活動資金支出計	1,121,621,308
	差引	△ 957,911,905
	調整勘定等	110,945,244
	施設整備等活動資金収支差額	△ 846,966,661
	小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	439,940,988
その他の活動による資金収支	収入	
	第3号基本金引当特定資産取崩収入	18,441,533
	退職給与引当特定資産取崩収入	135,446,160
	指定寄付奨学金引当特定資産取崩収入	3,040,000
	その他の収入	7,785,500
	貸付金回収収入	7,785,500
	内部取引収入	1,184,165
	本部からの繰入収入	10,000
	中高部からの繰入収入	406,858
	協創中高部からの繰入収入	767,307
	小 計	165,897,358
	受取利息・配当金収入	125,718,740
	その他の活動資金収入計	291,616,098
	支出	
	第3号基本金引当特定資産繰入支出	21,381,260
	退職給与引当特定資産繰入支出	269,074,269
	事業計画準備金引当特定資産繰入支出	48,873,000
	教育振興基金引当特定資産繰入支出	407,227
	指定寄付奨学金引当特定資産繰入支出	2,569,784
	その他の支出	6,090,801
	貸付金支払支出	3,520,500
	預り金支払支出	2,480,521
	立替金支払支出	89,780
内部取引支出	1,087,537,501	
本部への繰入支出	87,537,501	
協創中高部への繰入支出	1,000,000,000	
小 計	1,435,933,842	
その他の活動資金支出計	1,435,933,842	
差引	△ 1,144,317,744	
調整勘定等	0	
その他の活動資金収支差額	△ 1,144,317,744	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 704,376,756	
前年度繰越支払資金	4,040,977,440	
翌年度繰越支払資金	3,336,600,684	

【注 記】

1.活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。

(単位:円)

項 目	資金収支計算書計上額	教育活動による資金収支	施設設備等活動による資金収支	その他の活動による資金収支
前受金収入	1,228,167,500	1,062,617,500	165,550,000	0
前期末未収入金収入	184,792,395	182,705,395	2,087,000	0
期末未収入金	△103,503,122	△89,256,122	△14,247,000	0
前期末前受金	△1,177,390,000	△1,177,390,000	0	0
収入計	132,066,773	△21,323,227	153,390,000	0
前期末未払金支払支出	120,348,973	77,904,217	42,444,756	0
前払金支払支出	49,023,847	49,023,847	0	0
前渡金支払支出	0	0	0	0
期末未払金	△75,497,144	△75,497,144	0	0
前期末前払金	△45,857,851	△45,857,851	0	0
前期末前渡金	0	0	0	0
支出計	48,017,825	5,573,069	42,444,756	0
収入計-支出計	84,048,948	△26,896,296	110,945,244	0

【2019年度<活動区分資金収支計算書>の概要】

「活動区分資金収支決算書」は、活動ごとに3つの区分(教育、施設設備等、その他)に分けて記載したものです。どのような活動で資金が増加または減少したかが明確になるようになっています。収入については負債とならない確実な財源としての自己資金の受入状況を示しています。また、支出については活動ごとの資金の配分状況を示しています。

<教育活動収支>

- 収入**(1) 学生生徒等納付金収入(6,515,868千円)
 授業料等として4,762,854千円、入学金として433,750千円を受入れました。
 (2) 手数料収入(202,593千円)
 入学検定料193,011千円、大学入試センター試験実施手数料として6,947千円、証明手数料として2,634千円を受入れました。
 (3) 経常費等補助金収入(490,612千円)
 国庫補助金490,038千円、地方公共団体補助金574千円を受入れました。
 (4) 付随事業収入(33,644千円)
 インターナショナルハウスの居室使用料等の補助活動収入18,009千円、講座受講料4,572千円、免許状更新講習4,098千円、受託事業6,965千円を受入れました。
 (5) 雑収入(128,233千円)
 私立大学退職金財団からの交付金11名分91,970千円、施設設備利用料等として16,160千円を受入れました。
支出(1) 人件費支出(4,057,730千円)
 教員人件費・職員人件費・退職金が計上されています。人件費の内容は、専任教員204名及び専任職員147名の給与・所定福利費・退職金、非常勤教職員の給与等です。
 (2) 教育研究経費支出(1,746,609千円)
 第3グラウンド陸上競技場改修工事ほか、教育活動・専任教員の研究活動に係る経費を支出しました。
 (3) 管理経費支出(262,009千円)
 事務部門の運営・広報・入試等に係る経費を支出しました。
 *収入から支出を差引、調整勘定を加減した教育活動資金収支差額は1,286,907千円となりました。

<施設整備等活動収支>

- 収入**(1) 施設整備補助金収入(14,247千円)
 研究設備整備費等補助金として受入れました。
支出(1) 設備関係支出(133,079千円)
 学内ネットワークハードウェア等の更新を行いました。
 *収入から支出を差引、調整勘定を加減した施設整備等活動資金収支差額は△846,966千円となりました。

<その他の活動収支>

- 収入**(1) 貸付金回収収入(7,785千円)
 貸与奨学金回収(347名分)を受入れました。
 (2) 受取利息・配当金収入(125,718千円)
 第3号基本金引当特定資産運用収入21,181千円、その他の受取利息・配当金収入104,537千円を受入れました。今後も財政状況をみながら資産を慎重に運用する必要があります。
支出(1) 貸付金支払支出(3,520千円)
 貸与奨学金(7名分)を支出しました。
 (2) 本部への繰入支出(87,537千円)
 大学が負担する法人本部の経費です。
 *収入から支出を差引、調整勘定を加減したその他の活動資金収支差額は△1,144,317千円となりました。

以上、支払資金の増減額は△704,376千円の支出超過となり、前年度繰越支払資金を加算した翌年度繰越支払資金は3,336,600千円となりました。

貸借対照表

<2020(令和2)年3月31日>

科 目	本年度末	前年度末	増 減
資産の部			
	(単位:円)		
固定資産	35,739,104,103	35,366,715,270	372,388,833
有形固定資産	16,512,393,004	17,161,400,306	△ 649,007,302
土 地	948,405,724	948,405,724	0
建 物	9,882,080,706	10,398,202,539	△ 516,121,833
構築物	561,029,824	648,907,216	△ 87,877,392
教育研究用機器備品	648,400,281	736,913,737	△ 88,513,456
管理用機器備品	18,386,786	23,469,832	△ 5,083,046
図 書	4,451,468,852	4,403,968,790	47,500,062
車 両	2,620,831	1,532,468	1,088,363
特定資産	19,193,935,812	18,169,478,888	1,024,456,924
第2号基本金引当特定資産	560,007,000	373,338,000	186,669,000
校舎等建替引当特定資産(第2号)	560,007,000	373,338,000	186,669,000
第3号基本金引当特定資産	1,597,769,791	1,594,830,064	2,939,727
国際交流基金引当特定資産(第3号)	540,561,653	540,561,653	0
学生生活援助基金引当特定資産(第3号)	533,676,617	533,676,617	0
奨学金基金引当特定資産(第3号)	523,531,521	520,591,794	2,939,727
退職給与引当特定資産	1,407,099,062	1,273,470,953	133,628,109
事業計画準備金引当特定資産	241,338,300	192,465,300	48,873,000
減価償却引当特定資産	15,378,008,319	14,725,598,242	652,410,077
教育振興基金引当特定資産	5,100,036	4,692,809	407,227
指定寄付奨学金引当特定資産	4,613,304	5,083,520	△ 470,216
その他の固定資産	32,775,287	35,836,076	△ 3,060,789
電話加入権	2,219,022	2,219,022	0
ソフトウェア	11,522,704	15,486,304	△ 3,963,600
有価証券	10,000,000	10,000,000	0
出資金	20,000	20,000	0
長期貸付金	6,538,000	8,097,500	△ 1,559,500
長期前払金	2,475,561	13,250	2,462,311
流動資産	3,500,666,646	4,286,442,340	△ 785,775,694
現金預金	3,336,600,684	4,040,977,440	△ 704,376,756
未収入金	103,503,122	184,792,395	△ 81,289,273
短期貸付金	8,191,524	9,785,274	△ 1,593,750
前払金	52,281,536	50,825,851	1,455,685
立替金	89,780	61,380	28,400
資産の部合計	39,239,770,749	39,653,157,610	△ 413,386,861

負債の部

	(単位:円)		
固定負債	1,493,489,422	1,516,950,030	△ 23,460,608
長期未払金	3,396,222	11,658,330	△ 8,262,108
退職給与引当金	1,490,093,200	1,505,291,700	△ 15,198,500
流動負債	1,403,758,750	1,389,992,880	13,765,870
未払金	86,323,180	120,854,289	△ 34,531,109
前受金	1,228,167,500	1,177,390,000	50,777,500
預り金	89,268,070	91,748,591	△ 2,480,521
負債の部合計	2,897,248,172	2,906,942,910	△ 9,694,738

純資産の部

	(単位:円)		
基本金	34,549,789,972	34,342,492,862	207,297,110
第1号基本金	31,902,013,181	31,900,324,798	1,688,383
第2号基本金	560,007,000	373,338,000	186,669,000
第3号基本金	1,597,769,791	1,594,830,064	2,939,727
第4号基本金	490,000,000	474,000,000	16,000,000
繰越収支差額	1,792,732,605	2,403,721,838	△ 610,989,233
翌年度繰越収支差額	1,792,732,605	2,403,721,838	△ 610,989,233
純資産の部合計	36,342,522,577	36,746,214,700	△ 403,692,123

(単位:円)			
負債及び純資産の部合計	39,239,770,749	39,653,157,610	△ 413,386,861

【注 記】

- 1.重要な会計方針
 (1)引当金の計上基準
 ①徴収不能引当金…奨学金貸与及び奨学金融資による貸付金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。
 ②退職給与引当金…退職金の支給に備えるため、本学園退職手当支給規程により算定した自己都合退職による期末妻支給額2,187,545,100円の100%額を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入れ調整額を加減した金額を計上している。
 (2)その他の重要な会計方針
 ①有価証券の評価基準及び評価方法…移動平均法に基づく原価法によっている。
 ②預り金その他経過項目に係る収支の表示方法…預り金その他経過項目に係る収入と支出は相殺して表示している。
 ③外貨建金銭債権債務及び外貨建有価証券については、取得時又は発生時の為替相場により円換算している。
 2.重要な会計方針の変更等 …なし
 3.減価償却額の累計額の合計額 … 15,378,008,319円
 (内訳)・建物……………11,631,283,820円 ・構築物……………2,418,716,461円
 ・教育研究用機器備品…1,240,842,741円 ・管理用機器備品……………65,882,375円
 ・車両……………2,901,221円 ・ソフトウェア……………18,381,701円
 4.徴収不能引当金の合計額 … 9,017,825円
 5.担保に供されている資産の種類及び額 …なし
 6.翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 … 2,129,868円
 7.当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策 …第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。
 8.その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1)有価証券の時価情報

①総括表 (単位:円)

	当年度(2020(令和2)年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	5,720,837,187	6,069,255,619	348,418,432
(うち満期保有目的の債券)	(4,755,656,372)	(5,047,258,800)	(291,602,428)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	2,057,971,058	1,933,433,397	△124,537,661
(うち満期保有目的の債券)	(2,000,246,440)	(1,877,498,757)	(△122,747,683)
合 計	7,778,808,245	8,002,689,016	223,880,771
(うち満期保有目的の債券)	(6,755,902,812)	(6,924,757,557)	(168,854,745)
時価のない有価証券	10,020,000		
有価証券合計	7,788,828,245		

(注)上記表中の「時価」は、公表されている「市場価格に基づく価額」、あるいは市場価格がない有価証券(円建外債等)に関しては「合理的に算定された価額」を適用している。

②明細表 (単位:円)

種 類	当年度(2020(令和2)年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	6,755,902,812	6,924,757,557	168,854,745
株式	0	0	0
投資信託	1,022,905,433	1,077,931,459	55,026,026
貸付信託	0	0	0
その他	0	0	0
合 計	7,778,808,245	8,002,689,016	223,880,771
時価のない有価証券	10,020,000		
有価証券合計	7,788,828,245		

(2)主な外貨建資産 (単位:円)

科 目	外貨額	貸借対照表計上額	年度末日の為替相場による円換算額	換算差額
第3号基本金引当特定資産(定期預金)	米ドル 1,000,000	106,830,000	108,830,000	2,000,000
減価償却引当特定資産(定期預金)	米ドル 1,000,000	108,830,000	108,830,000	0

(3)偶発債務
 債務保証
 下記について、関係金融機関に対して、債務保証を行っている。
 (ア)融資奨学生の借入金…………… 5,359,712円
 (合計)…………… 5,359,712円
 (4)所有権移転外ファイナンス・リース取引
 通常の貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引は、次のとおりである。
 2015(平成27)年4月1日以降に開始したリース取引 (単位:円)

リース物件の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	48,950,880	18,477,900
車 両	2,318,040	459,318
合 計	51,268,920	18,937,218

- (5)関連当事者との取引…なし
 (6)減価償却の方法及び計上基準等
 ①減価償却の方法等
 (ア)残存価格(帳簿価格)を1円とする定額法により、減価償却を実施している。
 (イ)耐用年数は、「学校法人の減価償却に関する監査上の取扱い」(学校法人委員会報告第28号)及び学校法人修道学園経理細則(法人本部・学部編)による耐用年数を採用しており、主な耐用年数は次のとおりである。
 ・建物……………50年 ・附属設備……………15年 ・構築物……………15年
 ・機器備品(パソコン及びその周辺機器以外の備品)……………10年
 ・機器備品(パソコン及びその周辺機器)……………5年 ・車両……………5年 ・ソフトウェア……………5年
 ②減価償却資産の計上基準
 耐用年数が1年を超える有形固定資産(